

【実行委員会】「第45回全国育樹祭開催準備協議会」及び「第45回全国育樹祭大分県実行委員会」

令和元年6月27日(木)、森林・林業・緑化関係団体をはじめ、幅広い関係機関の参画の下、「第45回全国育樹祭開催準備協議会」を設立しました。

令和2年5月13日(水)には広瀬勝貞大分県知事を会長とした「第45回全国育樹祭大分県実行委員会」が設立され、大会テーマやシンボルマークの発表及び表彰が行われました。令和3年7月27日(火)に行われた第3回総会では、第45回全国育樹祭実施計画策定方針を決定し、令和4年2月22日(火)の第4回総会において、各行事の日程や開催内容など、詳細な実施内容が承認されました。



第45回全国育樹祭開催準備協議会



第45回全国育樹祭大分県実行委員会

【記念行事】第21回豊かな国の森づくり大会

大分県では、平成12年に行われた第51回全国植樹祭の開催理念を引継ぎ、毎年、県の植樹祭として「豊かな国の森づくり大会」を開催し、多くの県民の皆様にご参加いただいています。

令和3年11月13日(土)、お手入れ会場となる大分県民の森平成森林公園において、第21回豊かな国の森づくり大会を開催し、植樹活動のほか森林教室や高性能林業機械の実演などを行い、514人の皆様にご参加いただきました。



【記念行事】2021「国民参加の森林づくり」シンポジウム

第45回全国育樹祭の開催1年前キックオフイベントとして、令和3年12月5日(日)、日田市民文化会館「パトリア日田」大ホールにてシンポジウムを開催しました。

基調講演では武蔵野美術大学造形構想学部の若杉浩一教授に『創造』の源である森林、未来の拠点である『地域』と題して御講演いただき、森林資源が充実する地域にこそ、暮らしや文化・人材などの教材が溢れ、地域から社会の在り方を変えていく可能性が満ちているとの方向性が示されました。

続いて「生命と暮らしを育む森林を次代につなげる『豊かな地域』」をテーマにパネルディスカッションが行なわれました。コーディネーターとして馬場鉄心さん(一般社団法人全国木造建設事業協会大分協会会長)、パネリストとして山田高裕さん(株式会社まちUPいけだ専務取締役)、折居公美乃さん(森のようちえん おひさまのはら)、黒木陽介さん(一般社団法人日田市観光協会事務局長)に御登壇いただき、各パネリストの事例を交えながら森林・木材利用による地域活性化の可能性について若杉先生とともにディスカッションをしていただきました。



【記念行事】地域育樹祭

第45回全国育樹祭の開催に向け、令和3年から令和4年に県内各地で多くの緑の少年団などに御参加いただき、育樹活動を行いました。育樹活動のほかに環境教育や木工教室なども行われました。

◆ 東部地域



◆ 豊肥地域



◆ 中部地域



◆ 西部地域



◆ 南部地域



◆ 北部地域



## 【記念行事】親子 de 自然観察会

令和2年、3年に身近な自然や樹木により親しんでいただくため、「森の先生」のガイドによる親子 de 自然観察会を大分農業文化公園にて行い、多くの御家族に御参加いただきました。



## 【記念行事】体験型子ども科学館 O-Labo 出前講座

令和3年8月1日(日)、夏休みを利用して大分市内の小学生に対して、森に関する授業を行いました。樹木の種の飛散の授業では実際に模型の種を作って、種の飛び方を再現しました。



## もり 【記念行事】森林 de 学ぼうクイズラリー

令和3年7月から10月まで、大分農業文化公園にて森林クイズラリーを実施しました。1,000人を超える参加者があり、公園内を歩きながらクイズに挑戦し、森の仕組みについて学びました。

